

# 令和元年度 事業報告

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

今年度は平成27年度に策定した第2次上牧町地域福祉活動計画(平成28～32年度)の4年目として、計画の基本理念「人と人との手を取り合って支えあう福祉のまちづくり」の実現を目指して住民、ボランティア、NPO、福祉関係諸団体、行政等とのネットワークを活用した地域福祉活動を推進しました。

令和2年2月最終週より、コロナウイルスによる感染症予防の観点から介護保険事業等直接介護サービスを除く各種事業の実施をとりやめている。

## 事業報告

### 基本目標Ⅰ 地域で顔の見える関係づくり

#### ■ 1. 地域での顔の見える関係づくり

(1) 自治会区を基盤とした小地域ネットワークの拡充	
① 小地域ネットワークの組織化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ネットワークの組織化支援 令和元年度は新たな小地域ネットワークの組織化はなく平成30年度と変わらず町内14地区で地域のつながりづくりの活動に取り組まれていたが秋には「上牧町小地域ネットワーク活動ガイドブック ～身近な地域での居場所づくり～」を発行し、新たな小地域ネットワークの組織化に向けて住民への広報に努めた。</li> </ul>
② 小地域ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ネットワーク連絡会の開催 月1回ネットワーク連絡会の開催ネットワーク連絡会研修の開催。 全12回の連絡会のうち1回を研修会として夏休み宿題サロンの反省と情報交換を実施。(8月22日 17名参加)</li> <li>・各地域の中で見えてきた課題の共有 各小地域ネットワークの活動や企画会議に職員派遣。 夏休み宿題サロンの開催を提案し、各小地域ネットワークと共同で実施する。 (計10カ所、参加者:子ども109名、支援者等79名)</li> <li>・研修会(8月31日 なら小地域福祉活動サミットへの参加)</li> </ul>
(2) 支え合い活動の充実	
① 地域にあった活動づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン等の居場所づくり 小地域ネットワークによるサロン活動。町内14地区で活動する小地域ネットワークで高齢者に限らず多世代が参加できるサロンを開催。 つどいの広場事業に受託実施等による子育て世代が集える居場所づくり。 (サロンぽけっと 121回 2,663名参加 アピタサロン(乳児対象) 43回 641名参加)</li> </ul>

親子教室 29回 710名参加)  
障害を持つ人の仲間づくり  
身体障害者福祉協会との交流 歩こう会(6月11日)  
大阪ドームへの野球観戦(9月7日)  
身体障害者福祉協会との交流(2月23日)

②災害にも強いまちづくり

- ・災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修の開催  
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 理事 栗原英文氏を講師に郡域での運営スタッフ養成研修を開催。  
(12月1日、15日の2日間で延べ59名参加)
- ・災害時対応訓練の実施  
災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催。  
(10月20日 上牧町総合防災訓練へ参加  
1月26日 住民参加の災害対応訓練を実施 130名参加)

基本目標Ⅱ だれもが地域に参加できる仕組みづくり

■ 2. だれもが地域に参加できる仕組みづくり

(1) 多様な参加の機会づくり

① 多様な人々のつどえる場づくり

- ・当事者の社会参加を通じた理解の促進  
ぶらっとを通じた障害理解の促進を目的にスーパー、役場、片岡台3丁目での出張販売の実施。  
(出張販売:毎週金曜日アピタ→アピタ回収により虹の湯に変更  
隔週火曜日役場、片岡台3丁目)  
ぶらっとメンバーによる配食サービス弁当の配達。  
(月水金の夕食 延べ利用登録者 11名 1,464食)
- ・子どもの居場所づくり  
奈良県子どものところと学びの支援事業を受託し、毎週土曜日に2000年会館において子どもの居場所づくり事業「きらっと」を開催。生活困窮や家庭環境など様々な暮らしにくさを抱える子どもに対して簡単な学習と遊び、軽食を提供。  
上記に加え、障害者福祉センターを会場として、新たに主に中学生を対象とした「きらっと 夜の部」を4月24日から毎水曜日実施し、高校受験に向けた学習と軽食の提供を行う。  
(きらっと:36回 延べ242名利用 ボランティア延べ111名  
小学生8名、中学生1名 計9名  
きらっと夜の部:41回 延べ184名利用 ボランティア延べ100名  
小学生2名、中学生3名、高校生1名 計6名)
- ・ひきこもり家族への支援  
アピタささゆりルームを会場に家族のひきこもりに悩む家族がつどい、悩みを語り合うことで問題を一人で抱え込まず他者に相談したり互いに助け合えるような機会を提供することでひきこもり問題への支援につなげる。  
ひきこもりの問題は地元では相談しにくいとの声も多くあることから香芝市社会

	<p>福祉協議会とそれぞれの家族のつどいへの相互乗入れや互いに広報し合うなどの連携を行った。</p> <p>コーディネーター:湯浅龍氏(臨床心理士)</p> <p>11月7日から月1回のペースで計4回開催。</p> <p>参加者延べ32名参加 スタッフ延べ24名</p>
(2) 学びの機会づくり	
	<p>①学童期を対象とした福祉教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育プログラムの提供</li> </ul> <p>8月3日 かんまきタウンカレッジ 自由研究に取り組もう 小学生68名</p>
	<p>②活動のきっかけへと結びつく学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな担い手の発掘を目的とした連続講座「かんまきタウンカレッジ」を開催。</li> </ul> <p>(開催回数10回 参加者数297名 企画委員4名 企画会議2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア講座の開催</li> </ul> <p>手話入門講座の受託実施(24回 延べ141名参加 修了者7名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協まつりの開催</li> </ul> <p>ふれあい社協まつりの開催(5月25日 約600名参加)</p>
(3) 地域活動者への支援	
	<p>①ボランティア活動支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町ボランティア連絡協議会及び加盟団体への活動助成の実施。</li> </ul> <p>(共同募金配分金による助成 7団体 176,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ講座の開催</li> </ul> <p>現活動者を対象としたボランティア講座の開催 (12月1日、15日 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修 前掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょボラ等の情報発信の充実</li> </ul> <p>編集委員会によるボランティア情報誌の編集と発行(年3回)</p>
	<p>②活動者のつながり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上牧町ボランティア連絡協議会への活動支援。</li> </ul> <p>(ボランティア代表者会議の開催 年6回 研修会の開催 和歌山県湯浅町 12月17日 18名参加)</p>

## 基本目標Ⅲ 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

### ■ 3. 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

(1) ニーズ把握の充実	
	<p>①地域を基盤としたニーズ発見の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域ネットワーク等と連携したニーズキャッチ</li> </ul> <p>各小地域ネットワークへの職員派遣と世話人会でのニーズ把握の実施</p>

<p>②課題を漏らさず受け止める体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談機能の強化 コミュニティソーシャルワーカー研修、生活支援コーディネーター研修への参加。</li> <li>・サービス調整会議の開催による社協内連携(月1回開催)</li> <li>・大淀町社協、南和医療センターとのケース会議の開催(2月13日)</li> </ul>
(2)関係機関の連携強化
<p>①関係機関との協議の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携 子どもの居場所づくり事業の実施に係る行政担当課及び学校、民生児童委員等との連携及び調整会議に開催(校園長会1回、学校4回)</li> </ul>

#### ■4. その他の事業

(1)会務の運営
<p>①理事・評議員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・評議員会の開催 理事会3回(5月10日、6月21日、令和2年2月28日) 評議員会2回(6月21日、令和2年3月27日) 評議員選任解任委員会1回(6月21日)</li> </ul>
<p>②監査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計、事業監査の開催 年4回</li> </ul>
(2)介護事業等の実施
<p>①介護保険事業等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護事業の実施 (身体介護940回 712時間52分 身体生活 448回 633時間51分 生活援助1,097回 948時間41分)</li> <li>・居宅介護支援事業の実施 (ケアプラン作成734件 予防プラン作成373件 認定調査70件)</li> </ul> <p>②障害福祉サービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護等の実施 障害児者への訪問介護事業の実施。 (居宅介護:206回 236.5時間 重度訪問介護:265回 906時間 同行援護:146回 379時間 身体介護:134回 154.5時間 通院介助:23回 62時間 合計:774回 1,738時間)</li> <li>・移動支援事業の受託実施 障害児者への余暇活動等社会参加のための移動支援。(438回463.5時間)</li> <li>・地域相談支援事業の実施 障害福祉サービスの計画作成とモニタリング。(20名 延べ52件)</li> <li>・就労継続支援事業B型の実施 カフェぷらっと等の運営。</li> </ul>

利用登録者	10名(知的障害者8名、精神障害者2名)
通所者数	延べ1,680名(一日平均7.27名)
営業日数	231日 (一日あたり売上約10,315円)

③その他

- ・理髪サービス事業の受託実施 (5名、9回)
- ・日常生活用具の貸与事業の実施  
介護保険非該当者等への車いす等の貸し出し。  
(車いす 5回、ポータブルトイレ 1回)
- ・地域福祉権利擁護事業の実施  
(利用者4名 延べ支援回数30回 延べ支援時間42時間)
- ・生活福祉資金貸付事業の実施  
(相談数59件  
貸付数件:教育資金2件、福祉費2件、緊急小口資金9件)  
3月25日よりコロナ対策の特例貸付を実施 相談11件 貸付1件
- ・フードレスキューの実施 延べ20件

(3)募金活動及び団体事務

①募金活動の実施

- ・共同募金活動の実施  
自治会戸別募金、大口募金(郁慈会、奈良友誼会病院、上牧町商工会)、各自  
自治会夏祭り等での募金、街頭募金(10月1日:おくやま 11月3日:ペガサスフェス  
タ)、学校募金(町内小中学校)、募金箱設置 合計1,504,896円
- ・日赤社資募金の実施  
自治会戸別募金(2,089,046円)

②団体事務の実施

- ・団体事務の実施  
共同募金会、日本赤十字社、上牧町遺族会、身体障害者協議会

(4)その他

①指定管理事業

- ・2000年会館の管理
- ・障害者福祉センターの管理

②広報事業

- ・広報による社協活動の周知  
社協だよりの発行(年4回 4月、7月、10月、1月発行)  
ホームページによる迅速な事業報告及び情報公開  
(法人現況報告書、事業計画及び予算、事業報告及び決算、社協だよりを掲載)